

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	三連はしご上で活動中に、はしごが傾き倒れそうになったため、はしごから飛び降りた事例
3. 体験した事例の中心的要素	火災出動時、一般住宅屋根に三連はしごを架梯し、梯上で活動をしていたところ、三連はしごを確保していた隊員がいなくなっており、はしごが傾き倒れかかったため、はしごから飛び降りたもので、飛び降りた際、地上で活動していた隊員に衝突しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	梯上で活動していた隊員と確保者の意思の疎通がなく、確保者が無断でいなくなってしまったため

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成21年11月2日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：2階建て一般住宅屋根
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重症の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転倒
7. 事例体験時の活動	火災
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	現場活動初期
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



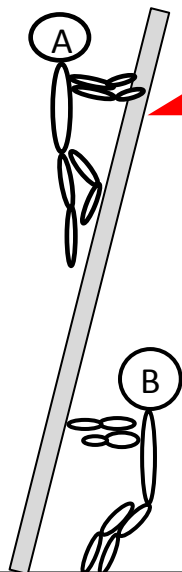
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

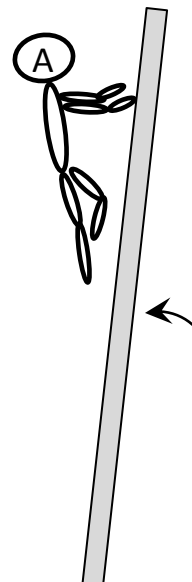
○指揮・情報伝達の対策について

①



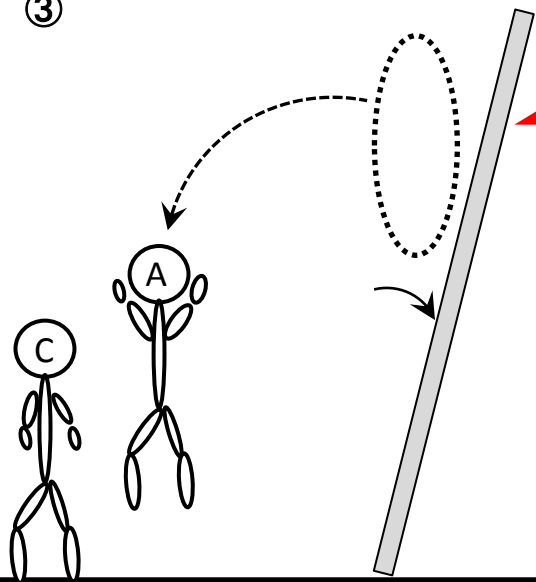
当事者Aが梯上で活動し、当事者Bが三連はしごの確保を行っていた。

②



気づくと当事者Bが三連はしごの確保からいなくなっており、三連はしごが傾いてきた。

③



当事者Aがとっさに三連はしごから飛び降りたが、三連はしご近くで当事者Cが活動していたため、衝突しそうになった。
なお、三連はしごは当事者Aが飛び降りたため倒れず、元に戻った。